

岡山県感染症週報 2014 年 第 2 週 (1 月 6 日～1 月 12 日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』を発令しました (1 月 16 日発令)。
岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2014 年 第 2 週 (1/6～1/12) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 52 週	2 類感染症	結核	1 名 (50 代 女)
	5 類感染症	アメーバ赤痢	1 名 (40 代 男)
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 名 (40 代 男)
第 2 週	2 類感染症	結核	3 名 (30 代 女 1 名、60 代 男 1 名、80 代 女 1 名)
	4 類感染症	レジオネラ症	2 名 (80 代 女 1 名、90 代 女 1 名)
	5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 名 (60 代 女)

■定点把握感染症発生状況

- インフルエンザは、県全体で 470 名 (定点あたり 1.87 → 5.66 人) の報告があり、前週より大きく増加しました。
岡山県は「インフルエンザ注意報」を発令し、広く注意を呼びかけています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で 567 名 (定点あたり 9.13 → 10.70 人) の報告があり、前週より増加しました。
- 咽頭結膜熱は、県全体で 25 名 (定点あたり 0.30 → 0.47 人) の報告があり、前週より増加しました。
- RS ウイルス感染症は、県全体で 36 名 (定点あたり 0.57 → 0.68 人) の報告があり、前週より増加しました。

【第 3 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 13 施設でありました。(1 月 14 日～1 月 16 日まで)
- 県内で発生した患者から、インフルエンザウイルス AH1pdm09 型及び AH3 型が検出されました。

1. **インフルエンザ**は、県全体で 470 名 (定点あたり 1.87 → 5.66 人) の報告があり、前週より大きく増加しました。注意報発令基準となる定点あたり 5.00 人を越えたため、岡山県では「インフルエンザ注意報」を発令し (1 月 16 日発令)、広く注意を呼びかけています。県内の発生状況など詳しくは、[「インフルエンザ情報」](#)をご覧ください。全国の第 1 週の発生状況を見ると、定点あたり 2.16 人であり、第 43 週以降増加が続いています。
2. **感染性胃腸炎**は、県全体で 567 名 (定点あたり 9.13 → 10.70 人) の報告があり、前週より増加しました。12 月頃に比べて県全体としての患者は減少したものの、依然として多くの患者が報告されています。ひきつづき手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。県内の発生状況など詳しくは [「感染性胃腸炎情報」](#)をご覧ください。
3. **咽頭結膜熱**は、県全体で 25 名 (定点あたり 0.30 → 0.47 人) の報告があり、前週より増加しました。地域別では、備北地域 (3.00 人)、美作地域 (1.00 人) で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症はプール熱とも呼ばれ、通常夏季を中心に流行しますが、今シーズンは全国的に冬季にも多く報告されています。患者との接触を避けること、流行時にうがいや流水と石けんによる手洗いを実施することなどが予防となりますので、今後の県内の発生状況に注意し、感染予防と拡大防止に努めてください。
4. **RS ウイルス感染症**は、県全体で 36 名 (定点あたり 0.57 → 0.68 人) の報告があり、前週より増加しました。地域別では、岡山市 (1.36 人)、真庭地域 (1.00 人)、倉敷市 (0.91 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。2013 年第 27 週からの年齢別累計では、6 ヶ月未満 18%、6-12 ヶ月 27%、1 歳 35% と、1 歳以下の乳児が 80% を占めています。この感染症は、秋から冬にかけて多くの患者が報告されており、今後も患者数が増加する恐れがあります。ひきつづき手洗い、うがい、マスクの着用等、感染予防に努め、お子さんの体調が悪いときは、早めに医療機関を受診してください。全国の第 1 週の発生状況を見ると、定点あたり 0.59 人の報告がありました。地域別では、徳島県 (2.61 人)、香川県 (2.20 人)、福島県 (1.22 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★	RSウイルス感染症		★★★
咽頭結膜熱		★★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★★
感染性胃腸炎		★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★	百日咳		
ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎		★	流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎			クラミジア肺炎		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)					

【記号の説明】 前週からの推移：
 : 2 倍以上の減少 : 1.1~2 倍未満の減少 : 1.1 未満の増減
 : 1.1~2 倍未満の増加 : 2 倍以上の増加
発生状況: 空白:発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い
今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

○ 「せき」に関する公開講座が開催されます。

- ・日時 : 平成 26 年 1 月 26 日(日) 13:30~16:00 (13 時開場)
- ・場所 : 岡山県立図書館 2 階 多目的ホール
- ・題名 : その「せき」、大丈夫? ~結核・インフルエンザ~

入場無料です。

お申し込み・お問い合わせは、岡山県立図書館ホームページから。

<http://www.libnet.pref.okayama.jp/event/2013/kankyo/0126.htm>

インフルエンザ情報 2014 年 第 2 週 (1 月 6 日 ~ 1 月 12 日)

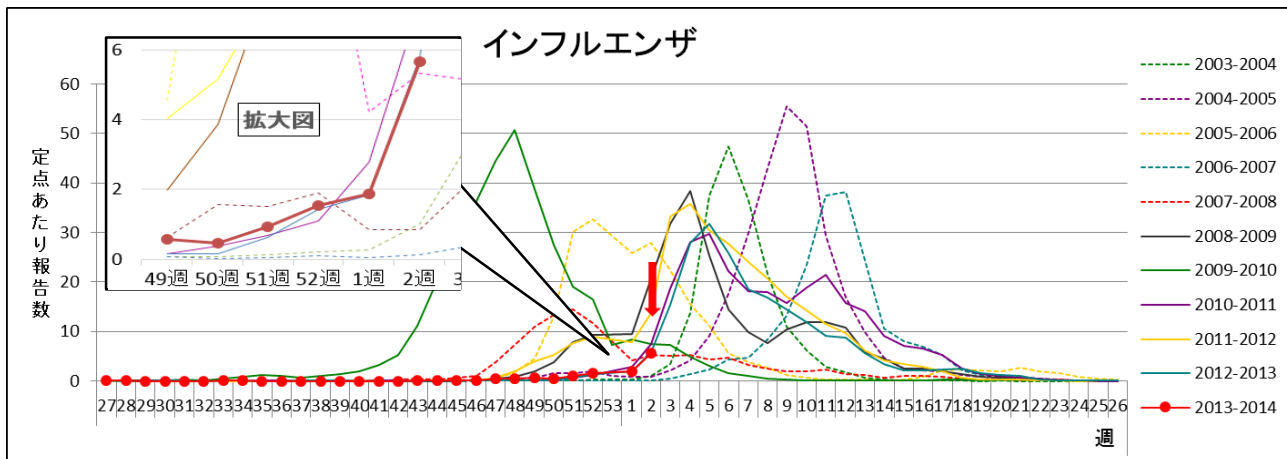
岡山県は『インフルエンザ注意報』を発令しました (1 月 16 日)。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 470 名 (定点あたり 1.87 → 5.66 人) の発生があり、大きく増加しました。注意報発令基準の 5.00 人を越えたため、**岡山県は「インフルエンザ注意報」を発令し、注意を呼びかけています。**
- インフルエンザによる入院患者 1 名の報告がありました。
- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

【第 3 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 13 施設でありました (1 月 14 日~16 日)。
- 県内で発生した患者から、インフルエンザウイルス AH1pdm09 型及び AH3 型が検出されました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ~ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

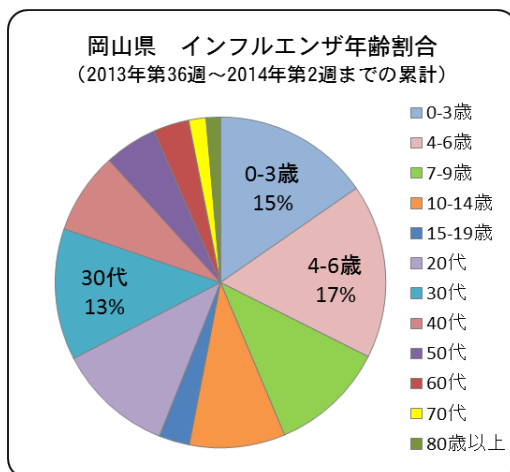
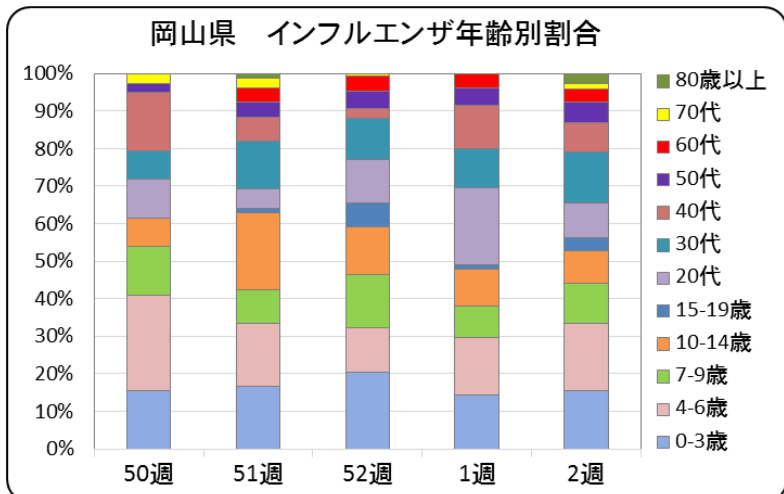
インフルエンザは、県全体で 470 名 (定点あたり 1.87 → 5.66 人) の発生があり、前週より大きく増加しました (83 定点医療機関報告)。岡山県では、第 51 週以降、患者増加がつついています。注意報発令基準の定点あたり 5.00 人を上回り、今後も流行が継続する可能性があることから、1 月 16 日、「インフルエンザ注意報」を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、真庭地域 (12.33 人)、美作地域 (10.90 人)、倉敷市 (7.13 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。真庭地域及び美作地域では定点あたり報告数が 10 人を上回り、発生レベル 2 になった他、全ての地域で急速に流行が拡大しています。

新学期の始まりとともに、第 3 週には、岡山市、倉敷市、備中地域及び美作地域で学校等の臨時休業が報告され、今後の患者増加が懸念されます。『外出後や食事前の手洗い・うがいを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠を取る。』など、感染予防に努めて下さい。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

1. 年齢別発生状況

2013 年第 36 週~2014 年第 2 週までの年齢別累計割合は、4-6 歳 17%、0-3 歳 15%、30 代 13% の順で多くなっています。

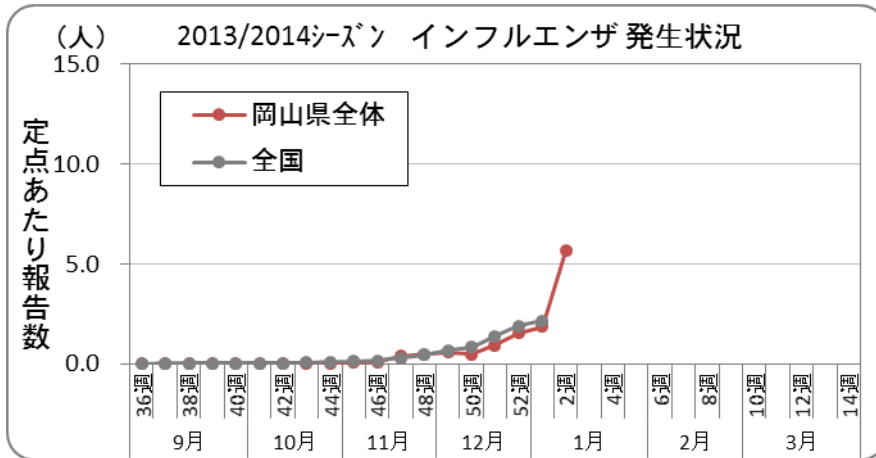


2. 地域別発生状況

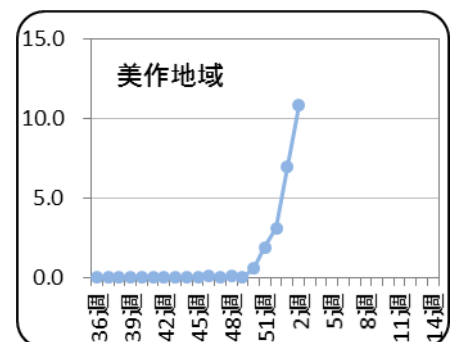
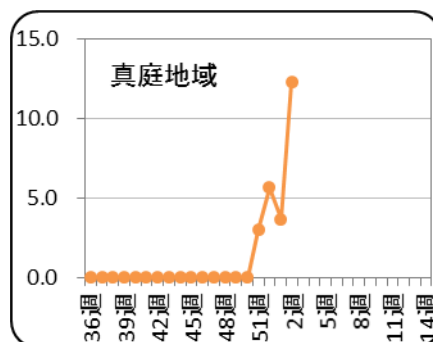
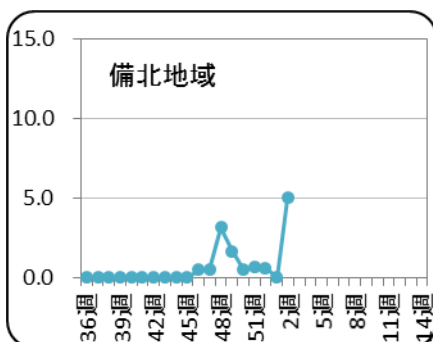
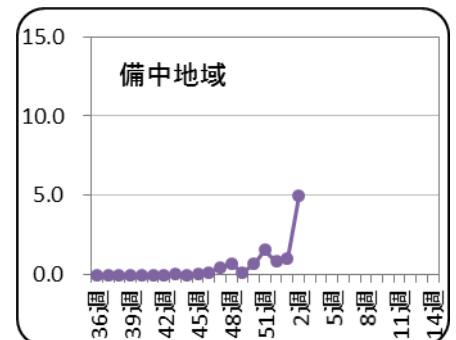
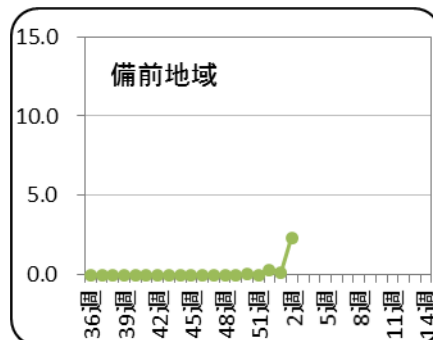
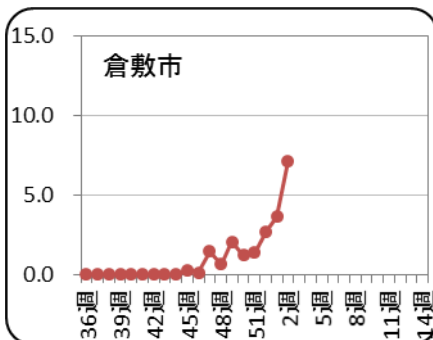
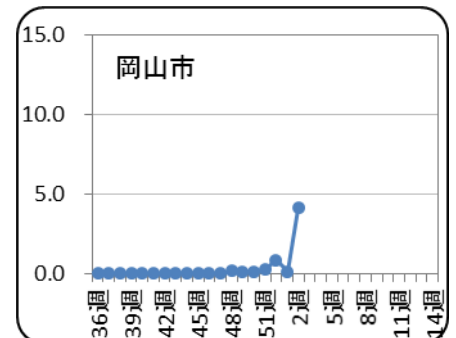
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	470	↑	備 中	患者数	60	↑
	定点あたり	5.66			定点あたり	5.00	
岡山市	患者数	90	↑	備 北	患者数	25	↑
	定点あたり	4.09			定点あたり	5.00	
倉敷市	患者数	114	↗	真 庭	患者数	37	↑
	定点あたり	7.13			定点あたり	12.33	
備 前	患者数	35	↑	美 作	患者数	109	↗
	定点あたり	2.33			定点あたり	10.90	

【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑



全国集計第1週(12/30～1/5)速報値によると、全国では定点あたり2.16人であり、第43週以降増加が続いています。地域別では、沖縄県(13.10人)、岐阜県(8.17人)、高知県(6.50人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、29府県で前週よりも増加しました。



3. インフルエンザウイルス検出状況

第2週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンでこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が7株です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が248株(55%)、AH1pdm09型が120株(27%)、B型が84株(19%)で、昨シーズンの同時期同様AH3型が最も多く検出されており、次いで2009/2010年シーズンに新型インフルエンザとして大流行したAH1pdm09型が多く検出されています。(平成26年1月16日現在)

[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)\)](#)

【第3週 速報】

第3週、1月15日時点で、第2週～第3週の岡山市及び美作市の患者10名のうち、5名からインフルエンザウイルスAH3型が、残りの5名からAH1pdm09型が検出されました。1月15日までに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が12株、AH1pdm09型が5株となっています。

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	88	0	54	0	6	—	—	0	3	0	3	H25.11.13
岡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
倉敷市	0	58	0	36	0	3	0	0	0	0	0	3	H25.11.18
備前地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
備中地域	0	21	0	10	0	2	0	0	0	2	0	0	H25.11.13
備北地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
真庭地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
美作地域	0	9	0	8	0	1	0	0	0	1	0	0	H25.12.20

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第2週：0施設

累計：6施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	0	1	0	5	—	—	—	—	—	—

5. インフルエンザによる入院患者報告数(県内基幹定点5医療機関による報告)

インフルエンザによる入院患者1名(幼児)の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。

<インフルエンザの予防接種をご検討ください>

インフルエンザの予防接種を行っても、**抗体ができるまでには2週間程度**かかるとされています。本格的な流行が始まる前に、早めのワクチン接種をご検討ください。

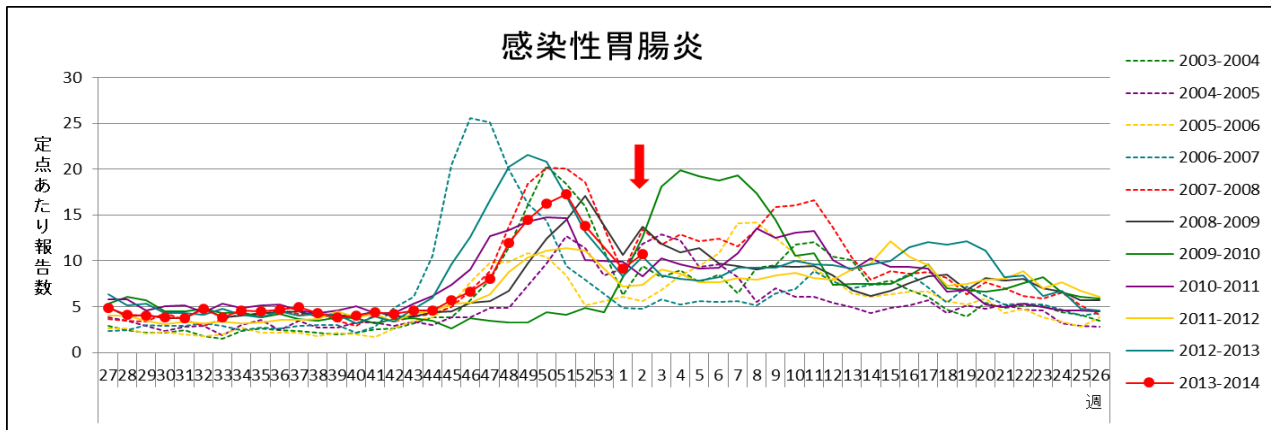
<インフルエンザワクチン定期接種対象者>

- ・65歳以上の高齢者
- ・60～64歳で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

◎ワクチンの在庫及び、予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

感染性胃腸炎情報 2014 年 第 2 週 (1 月 6 日 ~ 1 月 12 日)

○感染性胃腸炎は、県全体で 567 名（定点あたり 9.13 → 10.70 人）の発生がありました（53 定点医療機関報告）。

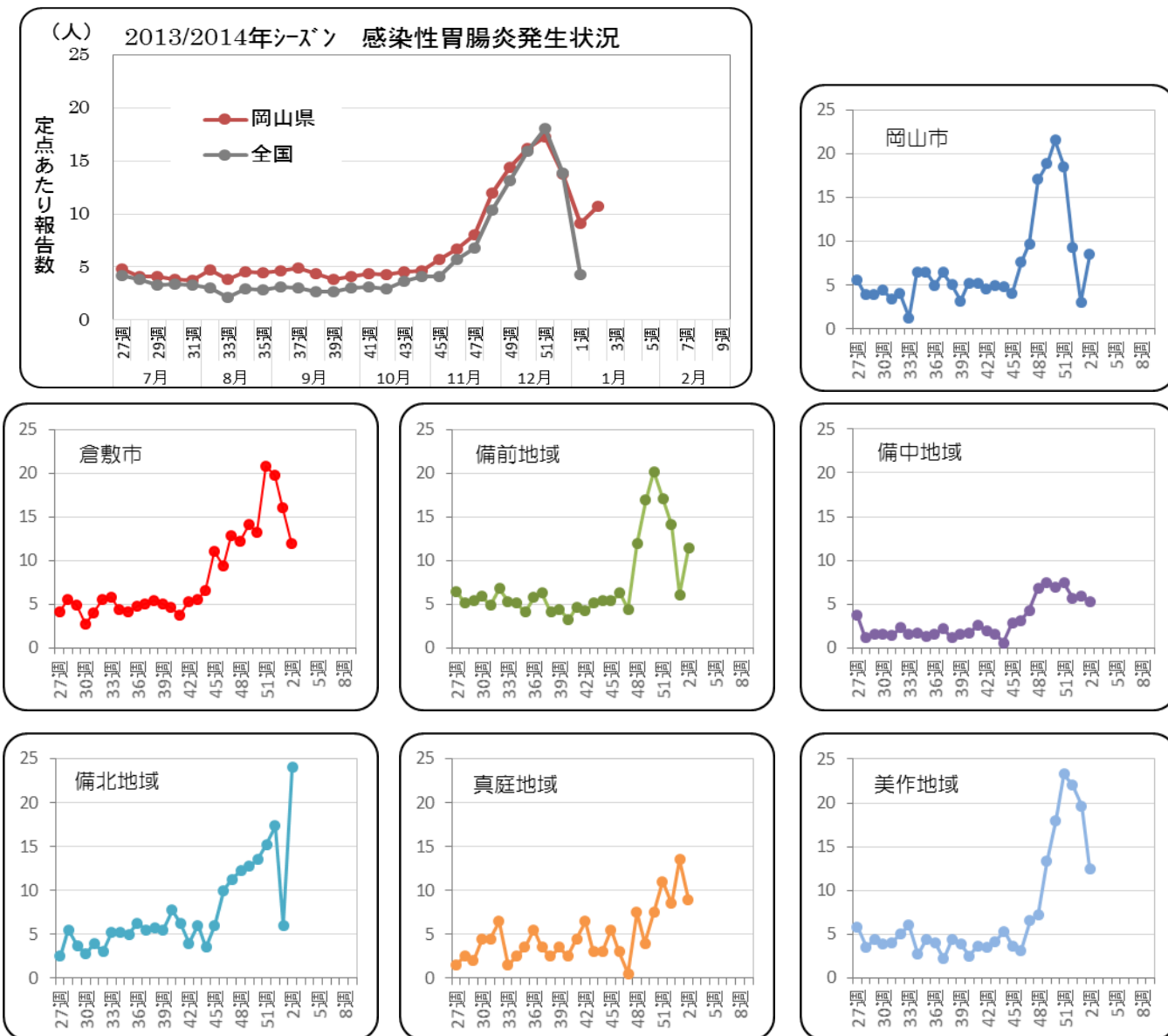


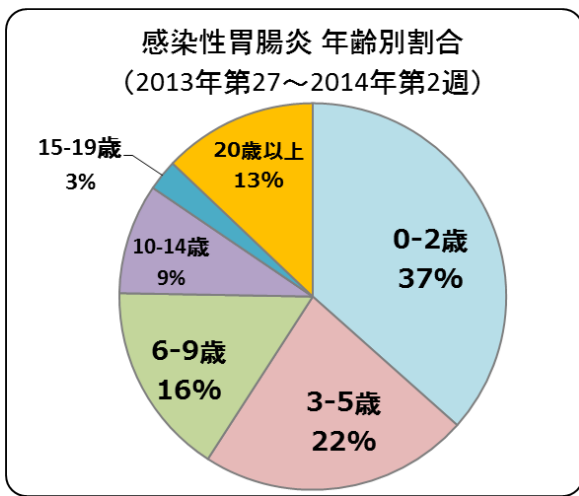
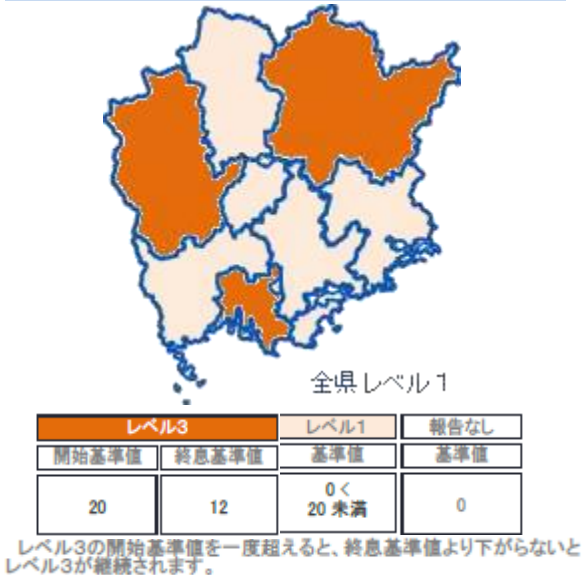
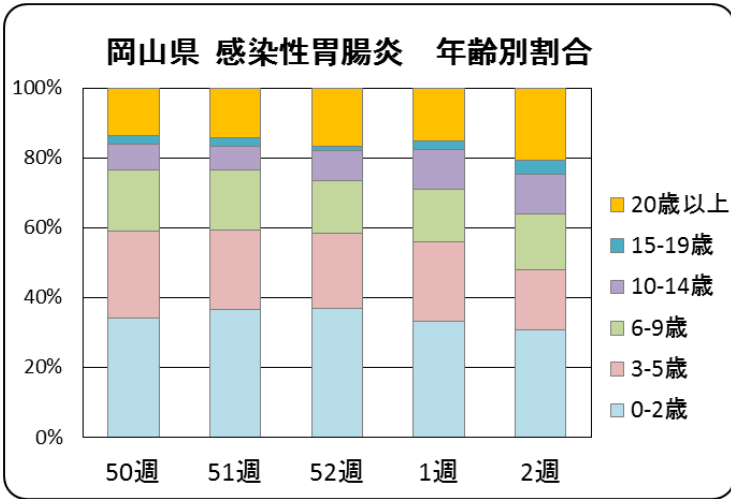
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で 567 名（定点あたり 9.13 → 10.70 人）の発生があり、前週より増加しました。12 月頃に比べて県全体としての患者は減少したものの、依然として多くの患者が報告されています。冬の感染性胃腸炎の原因はノロウイルス等のウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

[○ノロウイルスに関する Q&A について \(厚生労働省\)](#)

◆地域別・年齢別発生状況





地域別では、備北地域 (24.00 人)、美作地域 (12.50 人)、倉敷市 (12.00 人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。報告数が大きく増加した備北地域 (6.00 → 24.00 人)は新たに発生レベル3になり、発生レベル3の地域は倉敷市、美作地域、備北地域となりました。

年齢別累計では、5歳以下の乳幼児が全体の59%を占めています。

◎感染性胃腸炎が多く発生しています。

石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防と拡大防止に努めましょう。患者の嘔吐物や下痢便を処理する際には、自分が感染しないように、使い捨ての上着やマスク、手袋を着用しましょう。また、塩素系漂白剤などを使った消毒も併せて行いましょう。

通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

保健所別報告患者数 2014年 2週 (2014/01/06~2014/01/12)

2014年1月16日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	470	5.66	90	4.09	114	7.13	35	2.33	60	5.00	25	5.00	37	12.33	109	10.90
RSウイルス感染症	36	0.68	19	1.36	10	0.91	-	-	1	0.14	1	0.33	2	1.00	3	0.50
咽頭結膜熱	25	0.47	4	0.29	3	0.27	1	0.10	2	0.29	9	3.00	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	0.92	31	2.21	5	0.45	2	0.20	5	0.71	2	0.67	2	1.00	2	0.33
感染性胃腸炎	567	10.70	119	8.50	132	12.00	114	11.40	37	5.29	72	24.00	18	9.00	75	12.50
水痘	102	1.92	38	2.71	27	2.45	21	2.10	3	0.43	-	-	10	5.00	3	0.50
手足口病	7	0.13	3	0.21	4	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	16	0.30	7	0.50	2	0.18	2	0.20	1	0.14	1	0.33	-	-	3	0.50
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	0.08	1	0.07	-	-	2	0.20	-	-	1	0.33	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	9	0.75	5	1.00	2	0.50	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 2週 (2014/01/06~2014/01/12)

2014年1月16日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	470	5.66	90	4.09	114	7.13	35	2.33	60	5.00	25	5.00	37	12.33	109	10.90
咽頭結膜熱	25	0.47	4	0.29	3	0.27	1	0.10	2	0.29	9	3.00	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	0.92	31	2.21	5	0.45	2	0.20	5	0.71	2	0.67	2	1.00	2	0.33
感染性胃腸炎	567	10.70	119	8.50	132	12.00	114	11.40	37	5.29	72	24.00	18	9.00	75	12.50
水痘	102	1.92	38	2.71	27	2.45	21	2.10	3	0.43	-	-	10	5.00	3	0.50
手足口病	7	0.13	3	0.21	4	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	0.08	1	0.07	-	-	2	0.20	-	-	1	0.33	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	9	0.75	5	1.00	2	0.50	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2
を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2014年 第2週 2014/01/06～2014/01/12)

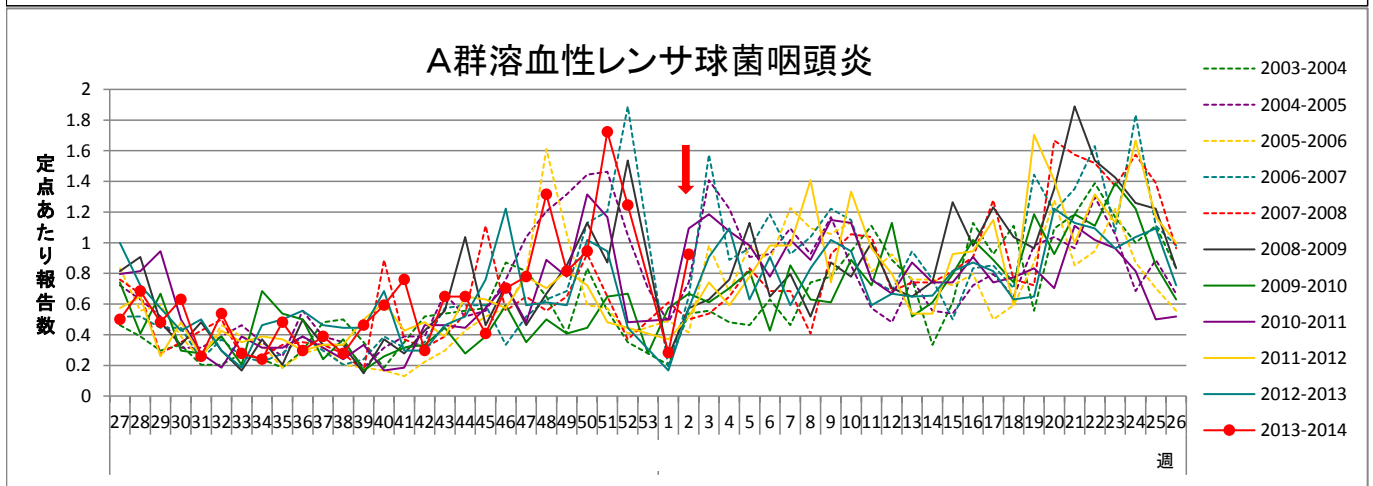
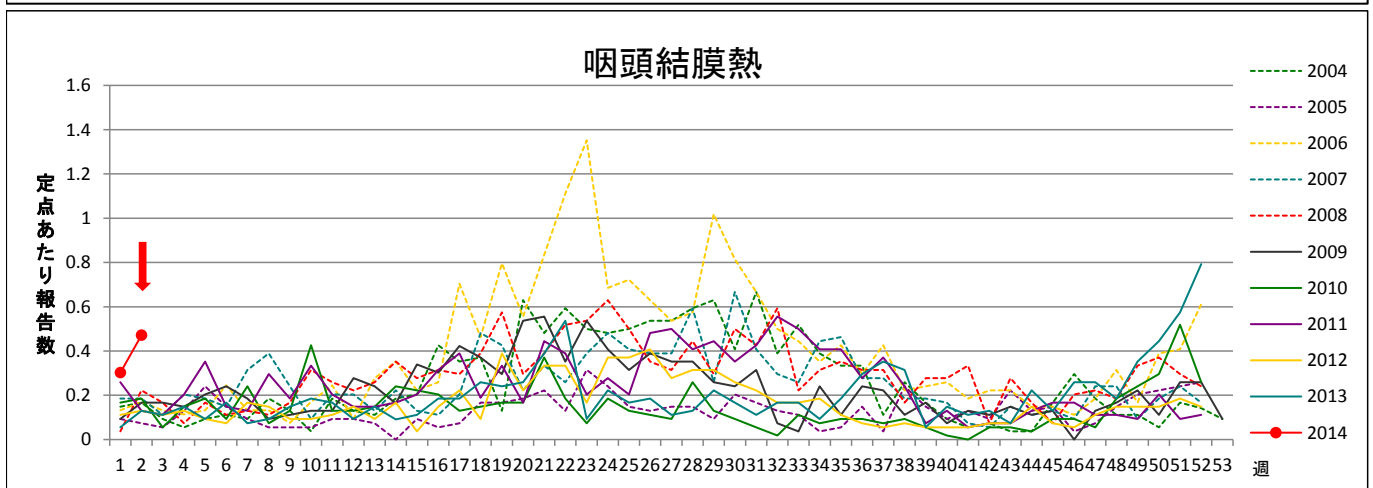
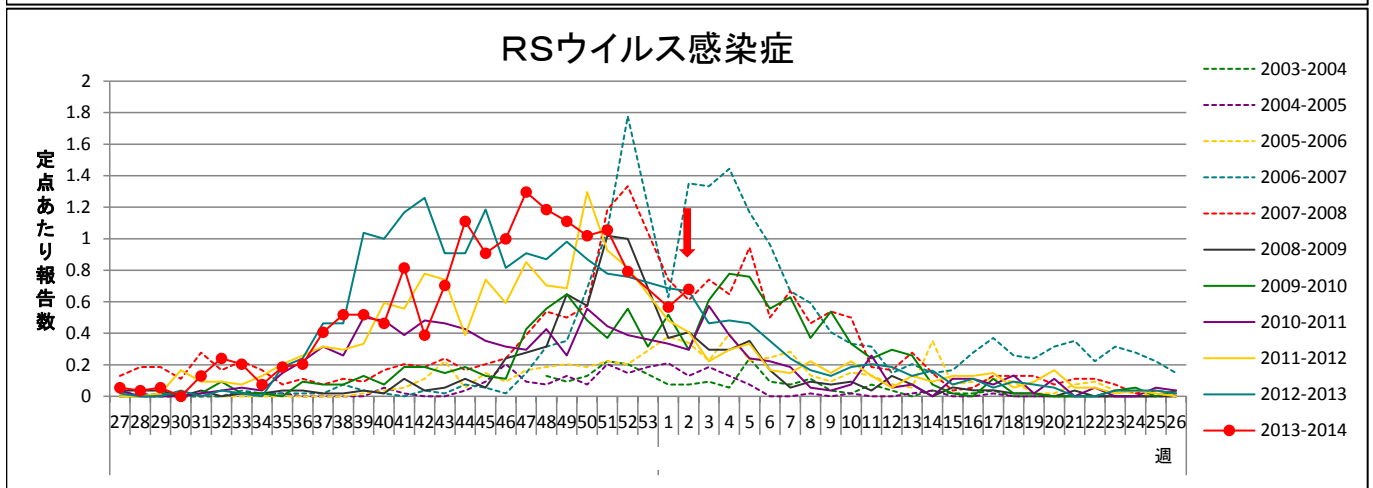
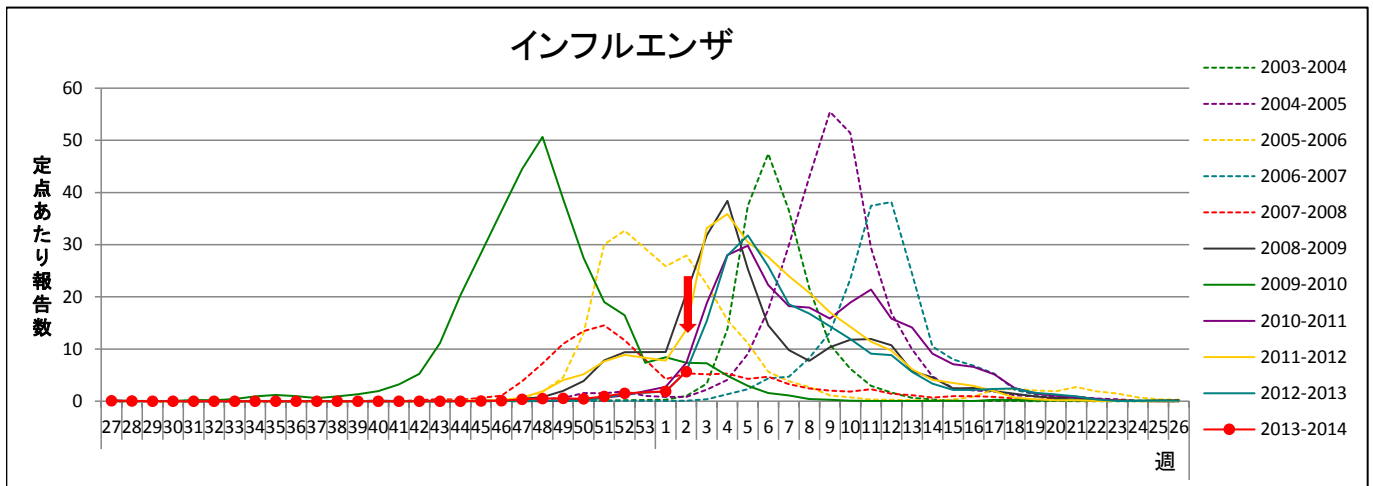
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	470	1	10	24	20	18	31	27	26	22	18	10	41	17	43	64	37	25	16	8	12

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	36	8	14	8	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	25	-	-	5	1	2	5	2	3	-	1	2	1	1	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	1	-	-	4	3	6	3	6	14	2	5	5	-	-
感染性胃腸炎	567	9	43	74	48	32	30	35	28	22	20	21	65	23	117
水痘	102	3	6	11	16	15	15	8	7	12	1	3	5	-	-
手足口病	7	-	-	1	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
突発性発疹	16	-	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-

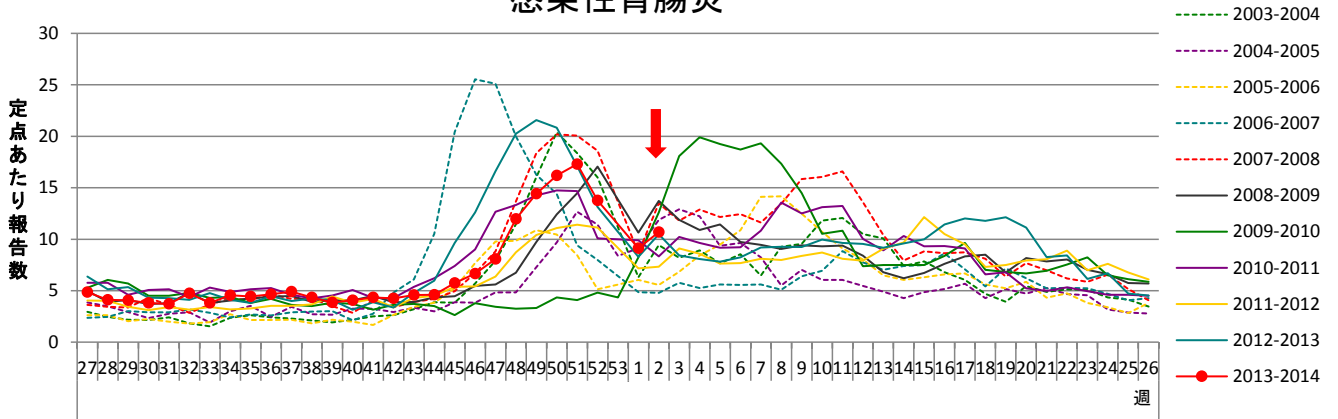
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
流行性角結膜炎	9	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	1	1	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

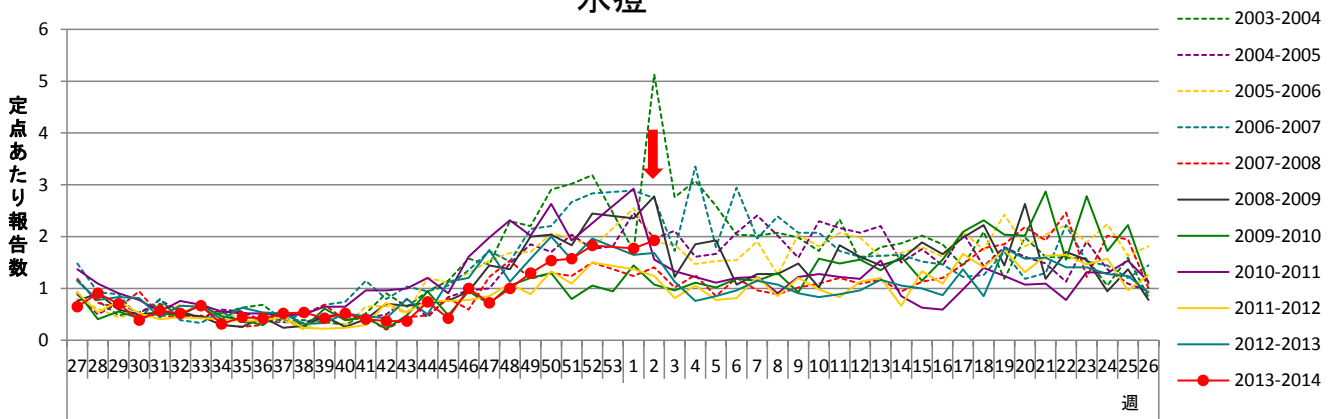
(- : 0)



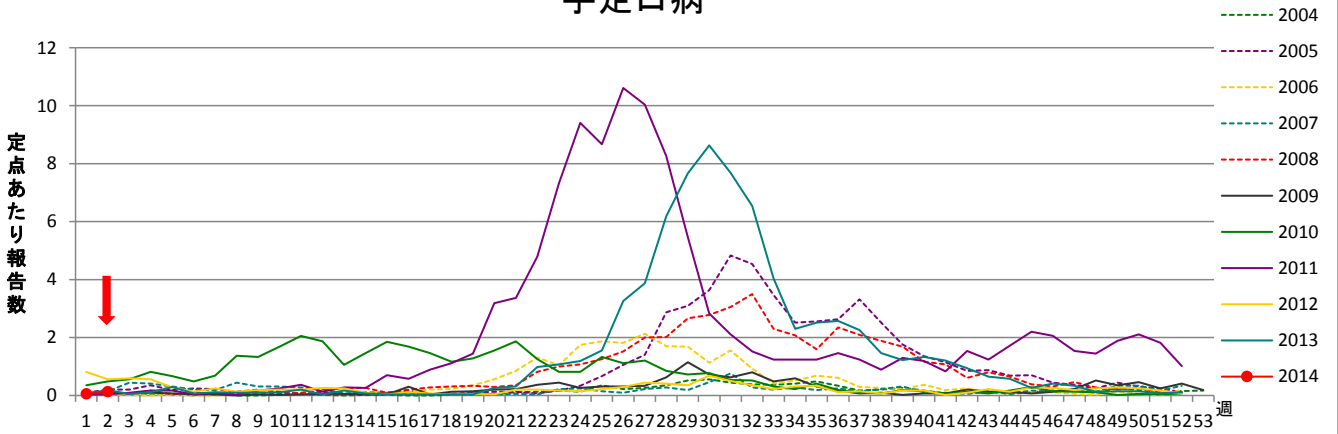
感染性胃腸炎



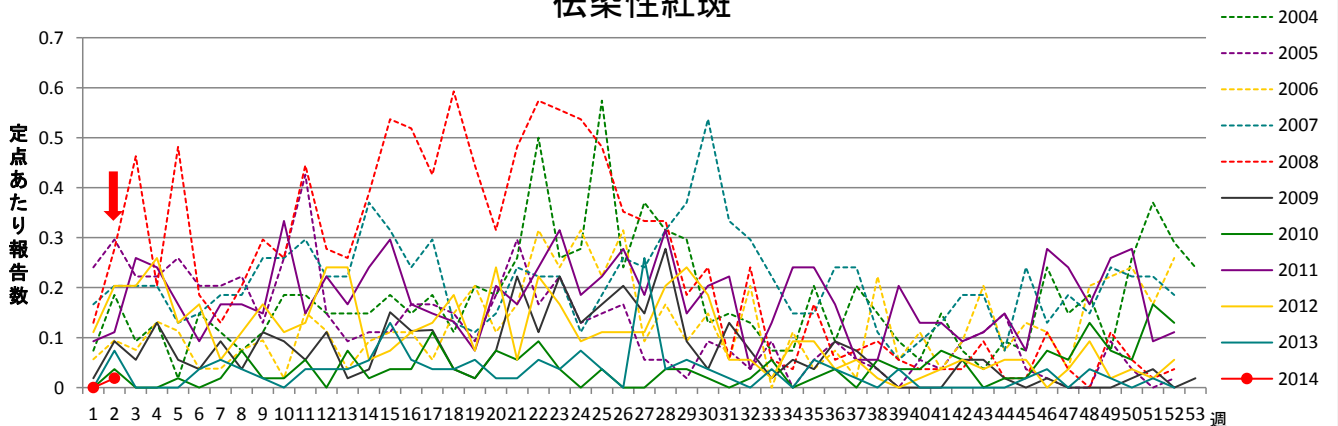
水痘



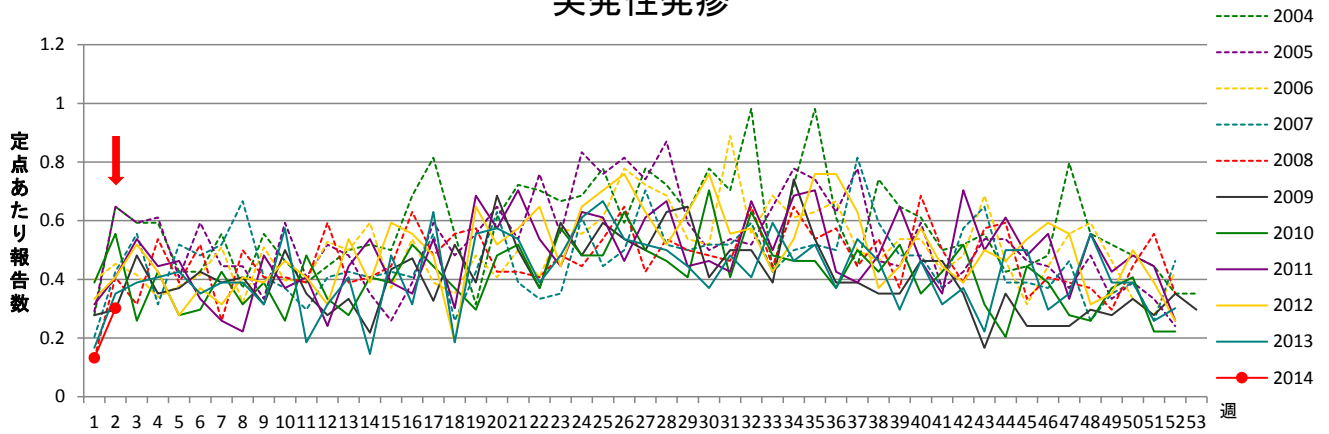
手足口病



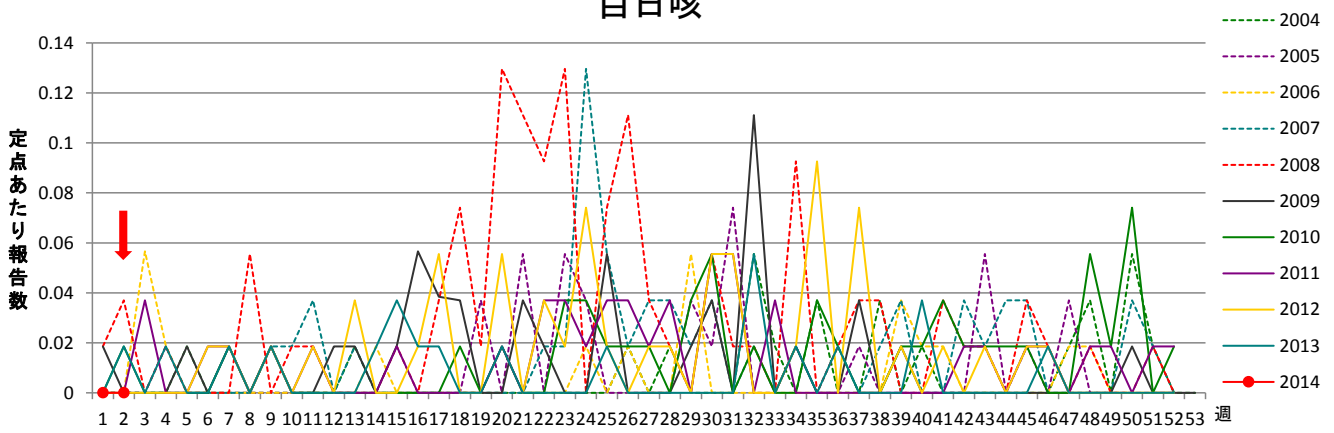
伝染性紅斑



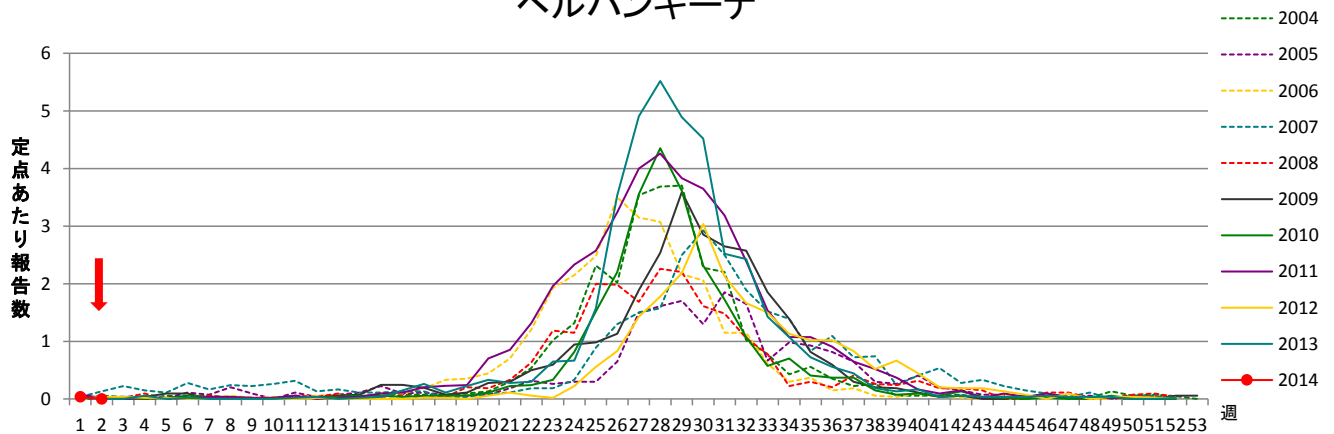
突発性発疹



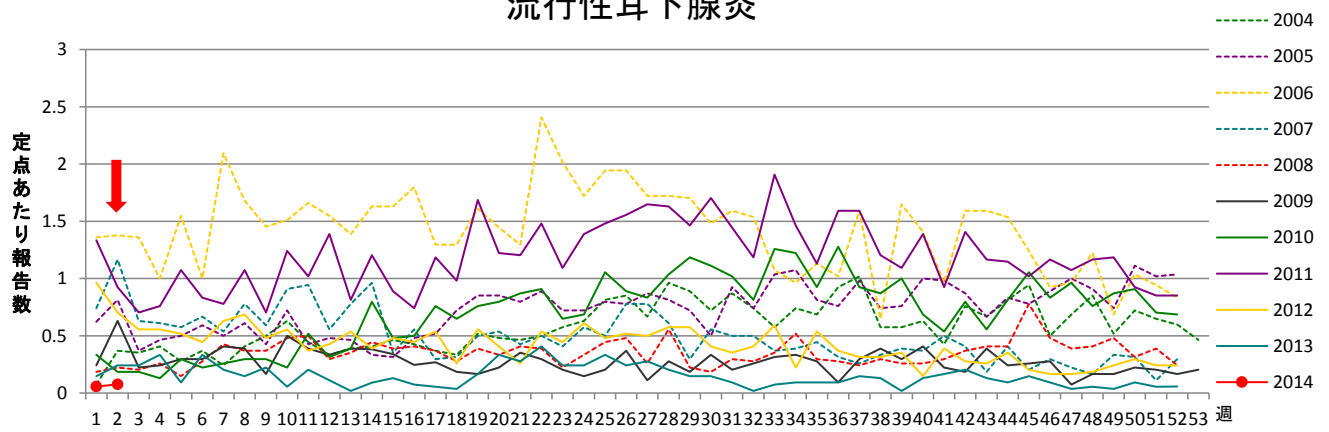
百日咳



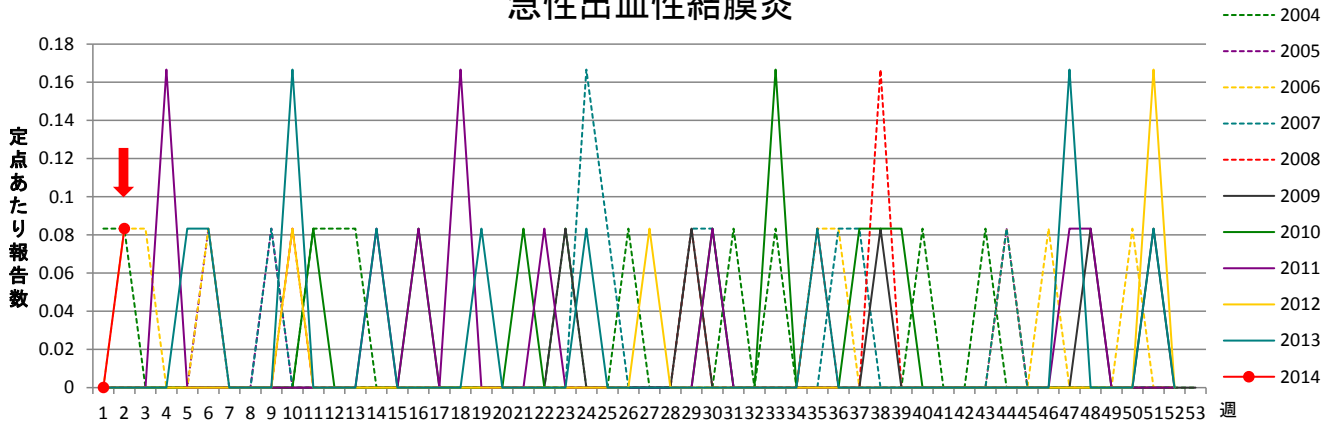
ヘルパンギーナ



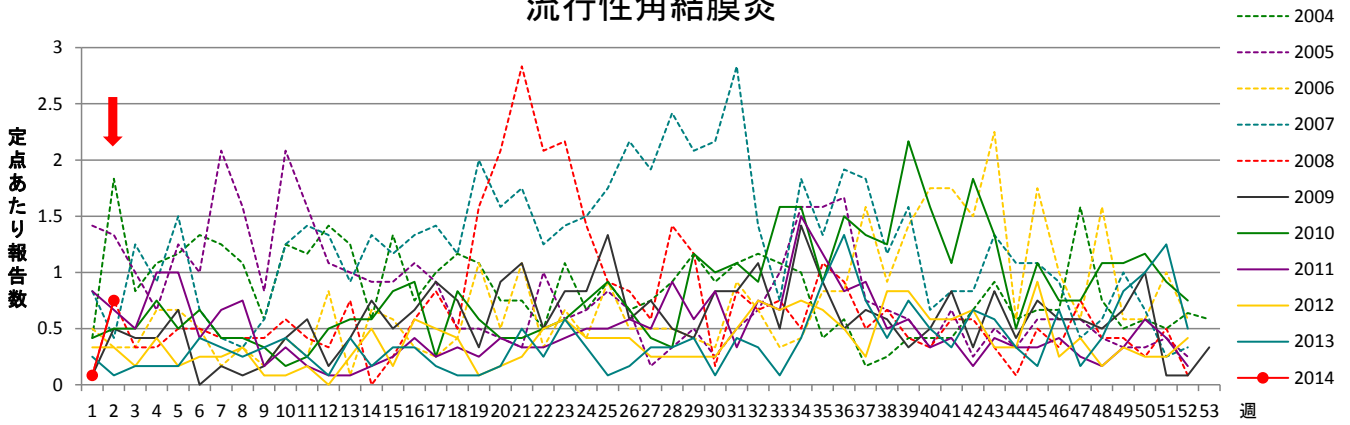
流行性耳下腺炎



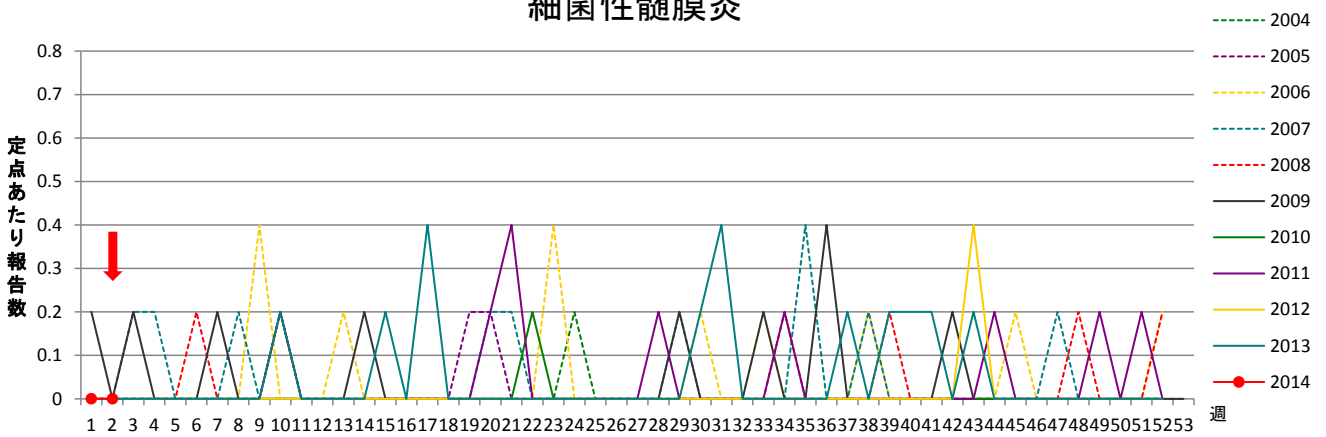
急性出血性結膜炎



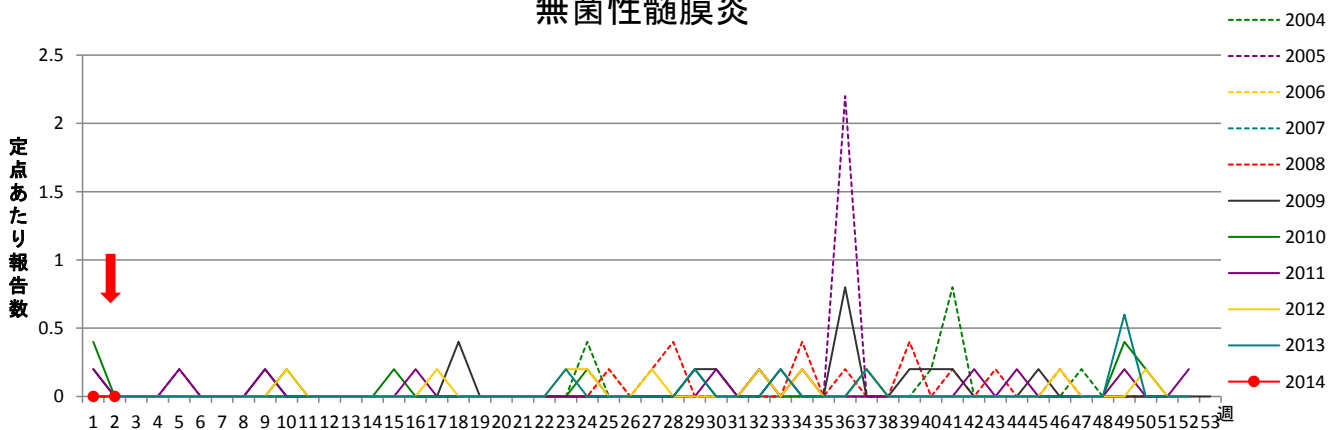
流行性角結膜炎



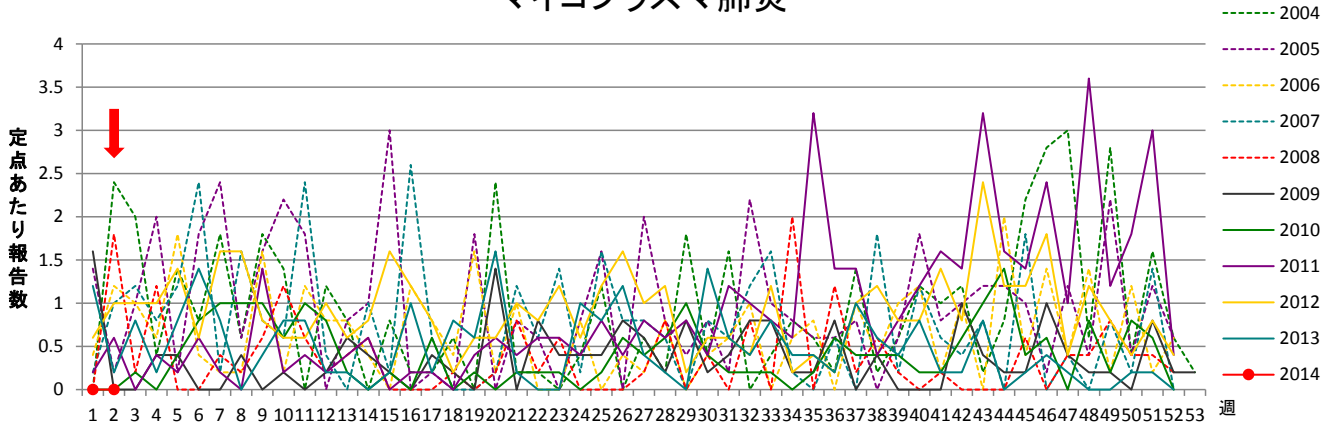
細菌性髄膜炎



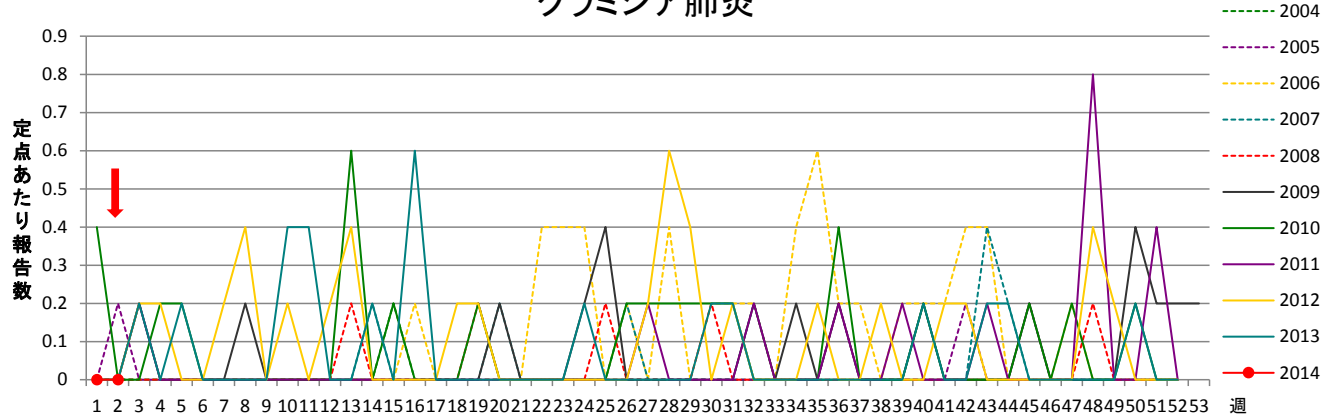
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

● 2013-2014

